

「感無量」

校長 瀧上 盛人

先日、9月23日(土)、快晴の秋空の下、海星中学校の第40回体育大会を実施することができました。閉会式の講評で、壇上に上がって一言。「感無量です。」と発した瞬間、言葉に詰まってしまいました。胸が熱くなり、込み上げてくるものがありました。次の言葉が出せなかったのです。生徒は、13名と海星中学校40年の歴史の中で最も少ない中、練習の時から全員が主役で全員が脇役、そして、一人一人が全力で取り組み、同じ方向を向いている。その生徒達を先生方がしっかりサポートしている。そして迎えた本番。一人一人が競技を全力で楽しんでいる。足を痛めた生徒がゴール前で倒れたとき、ゴールした生徒が迎えに行き、肩を組んでゴールする。足や腕を痛めた生徒もいましたが、それでも最後の紅白リレーにはできる限りの走りをする。そこには、紅白の勝負を超えた素晴らしい友愛の精神が見られました。



また、今大会は、40回の節目の大会でもあり、同窓会種目として2種目、特設種目も実施しました。『ガランガラン(輪回し)』では、「さすが」とうならせる熟練の技を披露していただきました。『海星中よ、永遠に!』では、一期生から順番に校旗を受け渡していき、現3年生が受け取り、参加した卒業生全員と一緒にゴールしました。これまで築き上げた海星中学校の伝統と校風、その重みを改めて実感しました。参加した卒業生の皆さんだけでなく、多くの地域の方々が感動し、涙を流しながら見ている高齢者の方もいらっしゃいました。



来賓や保護者、地域の方々の多数の参加による体育大会は、大成功に終わり、まさに地域と一体となった体育大会となりました。体育大会は終わりましたが、これだけのことをやりきる生徒を改めて、自慢に思うとともに、海星中学校の生徒の持っている可能性の大きさを実感しました。

為末大(2001, 2005世界陸上男子400mH銅メダリスト)著の「限界の正体」の中に、『鎖につながれたゾウ』という寓話があります。

あるところに小さな杭につながれたゾウがいました。ゾウの力があれば杭を引き抜いて抜け出すことができます。しかし、ゾウは逃げようとしません。なぜか。このゾウは子ゾウ

のときから、鎖でつながれていました。小さな子ゾウの力では、杭を引き抜くことはできません。何度も試みますが、どうしても杭は動きません。そのうち、「杭をはずすことは絶対にできない」とあきらめてしまいます。そして、二度と、杭を引き抜こうとは思えなくなった。「できない。無理だ」大きく成長した今なら、簡単に引き抜くことができるのに、そう思い込んでしまっていたのです。

体育大会を次に生かすためにも、自分の成長を実感し、「できない。無理だ」と自分自身で決めつけるのではなく、いろいろなことに挑戦し続ける海星中の生徒であって欲しいと思います。



第40周年記念体育大会スローガン 「以心伝心」～繋がれ心と心～

薩摩川内元気塾

9月6日(水)にかごしま環境未来財団の塩川哲郎先生をお招きし、「心のみがく」をテーマに講演会を実施しました。「何のためにはたらく?」「仕事とは?」など、生徒に問いかけたり、ご自身の失敗談も交えたりしながらお話をされました。また、「現在、将来の目標が明確でなくても、今頼まれたことを全力でやっている」と自分の向いている仕事に呼ばれる」と話され、何事も一生懸命になることの大切さを伝えました。生徒にとって、自分自身を振り返り、将来について考える良い機会となりました。

【生徒の感想】
○ 私は講演を聞いて、これまでの自分自身を見つめ直すことができました。これからは今のこの時間をもっと大切に過ごしたいと思います。



いじめ問題を考える週間

9月8日(金)に全学級において、いじめ問題について考える道徳の授業を行いました。1年生ではテレビ番組を活用しながらいじめについて考えました。また、3年生では「無視」について考え、仮想体験しながら



互いが感想を伝え合っていました。生徒からは「無視されると分かっているけど、実際にその場で体験すると、とても悲しくなりました」と感想を書いていました。鹿児島県いじめ根絶標語作品(中学3年生)より
気づいている? あなたの言葉 トゲだらけ…

地域貢献活動

9月7日(木)、自分たちが住む地域に、役に立つ活動を考え、意欲的に貢献することを目的として、青瀬コミセンや青瀬海岸の清掃活動を行いました。生徒は天気の悪い中ではありましたが、ほうきやぞうきんをもって、黙々と作業しました。最後に青瀬地区コミュニティ会長から感謝の言葉もいただきました。10月4日には長浜コミセンやフェリー乗り場の清掃活動を計画しています。



小中一貫教育の取組

9月9日(土)、長浜小・鹿島小の5、6年生と中学1年生が合同交流学習を行いました。「下甕島の産業・観光」をテーマに、夏休みに調べてきたことを壁新聞にして情報発信します。4つの班に分かれ、中学生がリーダーとなって新聞の内容や紙面構成を考えました。中学校では後輩の1年生が5、6年生の前ではしっかり中心となり、頼もしい姿で協議していました。完成した作品については、文化祭にて展示しますので楽しみにしてください。



各種表彰及び大会結果について

- 海の子作品コンクール(習字の部)
入選 1年瀧上彩花さん 2年大田夏美さん
- 薩摩川内市理科作品展
特選 1年瀧上彩花さん 2年大田夏美さん
入選 1年前多夏海さん
- 県児童生徒作文コンクール薩摩川内市審査会
特選 2年大田夏美さん
入選 1年福嶺日菜さん 3年上江悠太郎さん
- 第40回体育大会新記録賞
100m 2年大田夏美さん (15秒13)
200m 2年大田夏美さん (32秒14)
800m 1年前多夏海さん (2分54秒81)
2年大田夏美さん (2分58秒78)

お矢がせ

○ 市民大学講座「秋の星空観測会」
講師：瀧山利生教諭 平成29年11月18日(土)
19:30～20:30 海星中グラウンド
親子で秋の星空を観測してみませんか?(別紙案内中)

